



An aerial photograph of a river flowing through a deep canyon. The river is turbulent, with white foam and rapids. The canyon walls are composed of layered, reddish-brown rock. The text is overlaid in the upper right corner.

The Course for  
Academic  
Development of  
Psychiatrists  
2018



An Introduction to the JYPO  
by Toru Horinouchi

日本若手精神科医の会（Japan Young Psychiatrists Organization: JYPO）は2002年に世界精神医学会と日本精神神経学会の協力によって設立されました。その設立後、JYPOは両団体とは独立した組織として活動し2016年には認定NPO法人として認証を受け、メンタルヘルスの分野でリーダーシップを発揮できる人材を育てることを目的に活動しています。その活動の一端として、国際学会への参加・発表、シンポジウムの組織、そこから派生した国際共同研究、翻訳活動（World Psychiatry 誌等）、Mental Health First Aidの普及事業、他分野との共同イベントなどがあり、継続して精力的な活動を続けております。これらの継続的な活動の基盤として卒業制度があり、後輩会員は先輩会員から適切に指導されることで早期に責任あるポジションに就くことができます。新入会員でも様々なことを経験し、新たなイベントの企画立案もできるため、やる気のある皆さまの入会をお待ちしております。JYPOの活動に興味を持っていただいた方は是非、ご連絡ください。



What is CADP?  
by Nozomu Oya

The Course for Academic Development of Psychiatrists (CADP) は、若手精神科医の教育プログラムとして元世界精神医学会会長のNorman Sartorius先生によって開発・作成された、2泊3日の合宿形式で行う研修会です。精神科医療に関わる題材を通して、国際学会での発表方法、座長の進行方法、共同研究の申請方法など、多岐にわたる学術的な技術を習得することを目的としており、参加者自らの手で毎年プログラム編成および運営を行っています。

2002年に第1回CADPを開始して以来、多くの方の支援をいただきながら、毎年開催することができ、2018年2月に17回目を開催することができました。2008年以降参加のあった10数ヶ国・50名以上の海外参加者を含めると、延べ参加人数は600名以上にのぼり、参加者間の交流は会期終了後も様々な場で続いています。

今回のCADPの具体的な内容は、当リーフレットで参加者・運営委員が紹介しております。是非ご一読のうえ、お近くの若手精神科医に紹介いただければ幸いです。

国際色豊かな少人数のメンバーで構成されたグループにわかれ、CADPの3日間を通じて協同し多様な活動を行うプログラムをスモールグループワーク（SGW）と呼んでいます。本年のSGWでは、メンタルヘルスに関わるショートムービーの作成・共有を行いました。

自殺企図者を対象に精神科受診を啓発する動画、発達障害の早期発見を目標とした疾患啓発動画、ネット上でのいじめに注意喚起を促す動画、不登校児童へのメッセージ等、多様なテーマ・ターゲット・メッセージが扱われました。動画を作成することはメッセージを伝えることであり、スピーチ発表やポスター発表を通じて学んだこと、Sartorius先生から教わったことを活かす場ともなりました。

熱心にムービー作成に取り組んでくださった参加者の先生方に加え、準備・運営においてご尽力くださった福島弘之先生、伊津野拓司先生、安藝森央先生に改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## Poster Presentation 2018 by Morio Aki

ポスタープレゼンテーションのセッションでは、CADP 2回目参加者がポスターを持参し、それぞれが2分間でその内容を発表しました。7名のポスターを参加者全員で閲覧し、コメントをしつつ、Sartorius先生から各ポスターについて、および一般的なポスター発表についてレクチャーをいただきました。

精神科医のキャリアの中で、ポスターを発表する機会は幾度となくあれど、その具体的な指導はなかなかありません。ポスターについての構成、発表への準備、心がけを学ぶことは非常に貴重な経験です。一見地味に思われるポスター発表が、参加者同士での距離を縮め、今後のキャリアにおいての関係形成に非常に役立つことが理解できました。自身を売り込むための大切なツールであるポスター発表の醍醐味を、ぜひ次の参加者にも知ってほしいと思います。

## The CADP Lecture by Ryo Sawagashira

昨年と同様に17th CADPでは3名のエキスパートから講演を賜ることができました。初日は、慶應義塾大学の藤澤大介先生より、“How to make a presentation”のご講演を頂きました。これまでは、Sartorius先生がなされていたレクチャーですが、今回からOBによるレクチャーという形が実現し、CADPの未来を垣間見ることができました。2日目には、東京都医学総合研究所の糸川昌成先生をお招きし、“Schizophrenia paradox-material and event”と題したご講演を頂きました。壮大なテーマを持った一連の研究を糸川先生自身のキャリア形成と併行しながらご紹介頂きました。会場からは質問が絶えないほど大いに盛り上がりを見せました。最終日の3日目は、岩手医科大学から大塚耕太郎先生をお招きし、自身の関わられた自殺対策についての研究と被災地でのメンタルヘルスケアに関してご紹介頂きました。ディスカッションでは、「若いうちから、地域の精神保健システムを理解しておくことが非常に重要である」というキーメッセージを頂きました。これらのご講演は、どれも我々若手精神科医のキャリア形成に大きな影響を与え大変示唆に富んだものばかりであり、17thCADPには欠かせないプログラムでした。



The Next CADP  
by Hironori Fukushima

おかげさまで18回目となる次回のCADPは、2019年2月14日(木)～2月16日(土)に開催します。全国津々浦々・海外から参集する熱意あふれた若手精神科医とともに、新たな知見と経験を得て、研鑽と交流を深める3日間を過ごしてみませんか？

CADPのコンテンツ・運営方法は、Sartorius先生の提案や助言をもとに、参加者の皆さまからいただいた意見も参考にしながら、今日まで改良が重ねられています。運営委員一同、例年以上に内容のブラッシュアップに努め、皆さま方のご参加をお待ち申し上げます。参加者募集は8月末頃より開始予定です。募集要項は、JYPOホームページへ記載、および全国医学部の精神医学教室・主要精神科病院へ送付し、お知らせさせていただきます。初回参加者はもちろんのこと、2回目以降の参加者も、CADPを通じて、多くの発見と驚きに加え、今後の自身のキャリア形成や人生設計への大きなヒントが得られることでしょう。皆さまのご応募、心よりお待ちしております。

JYPOについてはこちら  
<http://www.jypo.org>

JYPO事務局への連絡はこちら  
[jypo@mecenat-net.co.jp](mailto:jypo@mecenat-net.co.jp)